

フィッチ、ニッシン債権回収のスペシャルサービサー格付を 格付ウォッチ「ネガティブ」の対象に

フィッチ・レーティングスー東京/ロンドンー2010年9月10日：

フィッチ・レーティングスは、ニッシン債権回収株式会社（NSC）のアセットバックト・スペシャルサービサー格付「ABSS3（JPN）」およびコマーシャルモーゲージ・スペシャルサービサー格付「CSS3-（JPN）」（CSS3 マイナス（JPN））を、格付ウォッチ「ネガティブ」の対象とした。

本格付アクションは、9月10日に日本振興銀行（IBJ）が、預金保険法の規定に基づき金融整理管財人の管理下に置かれたこと、およびNSCがIBJの株式を保有しており簿価が394百万円である旨のNSCの発表を反映している。NSCは2011年3月期の予想連結当期純利益を270百万円と発表していた。フィッチは、IBJ株式の保有がNSCの今期の業績に与える影響を注視していく。

また、同時にフィッチは、IBJの破たんによるNSCの資金繰りに対する影響およびNSCのサービシング能力に対する波及的な影響についても、注視していく。IBJのNSCおよびその連結子会社に対する貸出金は110億円を上回っている。

NSCは2001年7月に設立され、同年10月に法務省の許可を取得して有担保、無担保の貸出債権のサービシングを開始した。2009年9月末現在、2万件を超える債権を取扱っており、その未回収元本残高は3,200億円を超えている。

フィッチは、日本のプライマリー、スペシャル、マスターサービサーについて取扱債権の種類別に、最上位の1（「完全な承認（全般的に優秀なパフォーマンス）」）より5（「条件付き承認」）の五段階に分けて格付している。なお、各段階に対して、+（プラス）または-（マイナス）の符号を付ける場合があるが、これら+（プラス）または-（マイナス）の符号は、その段階の中でも相対的にレベルが高いことまたは低いことを示している。また、JPNの符号は日本のサービサー格付に付けられるが、当該格付が日本の法的、経済的、社会的環境と関連していることを示すものである。格付の定義など詳細については、フィッチのレポート「日本のサービサー格付基準（2009年9月4日）」に記載されている。上記レポートはフィッチのウェブサイトで開催されている（アドレスは日本語：www.fitchratings.co.jp、英語：www.fitchratings.com）。

（本稿は原文「Fitch Places Nissin Servicer's Special Servicer Ratings on Watch Negative」（2010年9月10日付）をもとに作成されています。）

照会先：

主担当アナリスト

上野 光宏

ダイレクター

03-3288-2605

フィッチレーティングスリミテッド

〒102-0083 東京都千代田区麹町四丁目8番地 麹町クリスタルシティ東館9F

副担当アナリスト

榊原 みどり

アソシエイト・ダイレクター

03-3288-2670

格付委員会の議長
工藤 仁章
マネージング・ダイレクター
03-3288-2630

メディア照会先：尾崎 千夏（東京）03-3288-2679

さらなる情報については、弊社ウェブサイト www.fitchratings.com / www.fitchratings.co.jp（日本語）より入手可能です。

フィッチの全信用格付は、所定の制約及び免責の対象となっています。弊社ウェブサイトから当該制約及び免責事項をご覧ください（www.fitchratings.co.jp：「格付の定義」>「格付の概要」>「信用格付を理解する：利用と制約」）。さらに、格付の定義及び利用規約は弊社のウェブサイト www.fitchratings.com / www.fitchratings.co.jp（日本語）に掲載されています。公表された格付、格付基準、格付手法も同サイトに常時掲載されています。フィッチの行動規範、守秘義務、利益相反、関連会社間のファイアウォール、コンプライアンス及びその他の方針・手続等も www.fitchratings.co.jp 上の「行動規範」のセクションにてご覧いただけます。